

令和4年1月6日

報道関係各位

**こくみん共済coop和歌山推進本部から
有田市教育委員会へのなわとび・長なわの寄贈について**

こくみん共済coopでは、子どもたちがすこやかに育ち、たすけあいの気持ちを未来につないでいける、そんな環境をつくるための「こどもの成長応援プロジェクト」に取り組んでいます。

取り組みのひとつとして和歌山県内での「こくみん共済こども保障タイプ」へのご加入1件につき、なわとび・長なわ1本を地域に寄贈しています。

今年は、なわとび418本および長なわ41本の合計459本を有田市教育委員会へ寄贈し、地域の子どもたちの体力向上の活動に寄与します。

【日時】令和4年1月27日（木） 午前11時00分～

【場所】有田市役所 4階 有田市教育委員会 会議室

※詳細は、別紙のとおり

----- この件に関するお問い合わせ先 -----

〒649-0392 和歌山県有田市箕島50番地
有田市教育委員会 教育総務課 総務係
担当:上野山 恭実
TEL:0737-22-3758(直通) FAX:0737-82-1834
Email:kyoikusomu@city.arida.lg.jp

こくみん共済 coop 和歌山推進本部から 有田市教育委員会へのなわとび・長なわの寄贈について

記

1. 日時

2022 年 1 月 27 日（木） 11：00 開始

2. 場所

有田市役所 4 階 有田市教育委員会 会議室

3. 出席者予定者

＜こくみん共済 coop 和歌山推進本部＞

- ・本部長 池田 祐輔（いけだ ゆうすけ）
- ・事務局長 元木 幹雄（もとき みきお）
- ・支所長 中川 純一（なかがわ じゅんいち）

＜有田市教育委員会＞

- ・教育長 前田 悦雄（まえだ えつお）
- ・教育次長 谷輪 吉伸（たにわ よしのぶ）
- ・参事 伊藤 正人（いとう まさと）
- ・主査 上野山 恭実（うえのやま やすみ）

4. 概要

- （1）こくみん共済 coop では、子どもたちがすこやかに育ち、たすけあいの気持ちを未来につないでいける、そんな環境をつくるための「こどもの成長応援プロジェクト」に取り組んでいます。
- （2）取り組みのひとつとして和歌山県内での「こくみん共済こども保障タイプ」へのご加入 1 件につき、なわとび・長なわ 1 本を地域に寄贈しています。
- （3）今年は、なわとび 418 本および長なわ 41 本の合計 459 本を有田市教育委員会へ寄贈し、地域の子どもたちの体力向上の活動に寄与します。

5. 添付資料

- （1）こどもの成長応援プロジェクト（A3 サイズチラシ）
- （2）昨年度の寄贈について（こくみん共済 coop ホームページ）

＜本件に関する問い合わせ先＞

こくみん共済 coop 和歌山推進本部	中川	TEL：073-425-6031
有田市教育委員会 教育総務課	上野山	TEL：0737-22-3758

以上

なわとび・長なわ贈呈式次第

日時：令和４年１月２７日（木）午前１１時～

場所：有田市役所４階 有田市教育委員会会議室

１．開会

２．出席者紹介

３．こくみん共済coop和歌山推進本部 挨拶

４．有田市教育委員会 挨拶

５．目録贈呈

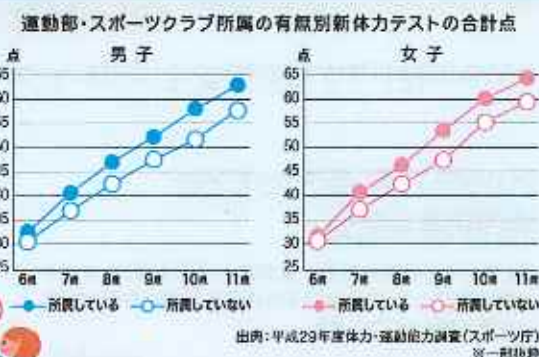
６．閉会



こくみん共済 coop では、子どもたちがすこやかに育ち、たすけあいの気持ちを未来につないでいける、そんな環境をつくるための「こどもの成長応援プロジェクト」に取り組んでいます。

現在、「孤育て」や「子どもたちの体力の二極化」など、子どもたちの成長に関わる多くの社会課題が存在しています。スポーツ庁の調査によると、部活動やスポーツクラブで運動をしている子/していない子の体力の差が広がってきていることが指摘されています。スポーツクラブや家族と遊ぶことで日常的に運動をしている子どもがいる一方で、1週間の運動時間が1時間に満たない子どももいます。こどもの成長応援プロジェクトでは、「子どもの体力低下」に着目し、体力向上の面から子どもの成長を支えたいと考え、さまざまな活動に取り組んでいます。

*孤育て：夫や親族の協力が得られず、近所との付き合いもなく、孤立した状態で母親が子どもを育てている状態のことを指す造語



子どもたちの心身の健康を守り、子育て中のパパ・ママを社会全体で支えていくため、さまざまな活動を行っています。

取り組み その1 なわとび・長なわの寄贈

こくみん共済 こども保障タイプへのご加入1件につき、なわとび・長なわ1本を全国の児童館・小学校などに寄贈しています。あなたもぜひ、この取り組みにご協力ください。

取り組み その2 こども相談室の開設

子育て中のパパ・ママのお悩みや、お子さま自身の学習のお悩みなどが相談できる、WEB上の相談室を開設しています。

こくみん共済 こども相談室
相談無料
※こくみん共済 こども保障タイプにご加入の方が利用できるサービスです。



取り組み その3 成長応援コラムの発信

プロジェクトサイトでは、体力の向上や心の発育など子どものすこやかな成長に関する情報について、さまざまな分野の専門家が解説するコラムで発信しています。



2,660の団体が活動に賛同！

こどもの成長応援プロジェクトに賛同いただいている協力団体は、2,660団体（2021年4月時点）。子どもの成長を応援する多くの方々の思いに支えられて、今後も取り組みをすすめています。

これまでの取り組み

2020年1月「こどもの成長応援プロジェクト」スタート！

児童健全育成推進財団とパートナーシップを締結！

子どもたちのすこやかな成長をともに支えるために、こくみん共済 coop は児童健全育成推進財団とパートナーシップを締結。より連携を深め、子どもの成長に関する情報発信や啓発活動を実施していきます。



コロナ禍で子どもの運動不足が不安！



2020年6月に実施したアンケートでは、「昨今の新型コロナウイルス感染症流行の社会情勢を受けて、ご自身のお子様について不安に思う事柄はありますか」という設問に対し、52.8%の方が、「子どもの運動不足が不安」と回答しました。こくみん共済 coop では、これからはさまざまな団体と連携をとりながら、子どもたちがすこやかに成長できる環境づくりに取り組んでいきます。

これまでに51,529本のなわとび・長なわを全国の児童館・小学校などに寄贈しました。

こくみん共済 coop では、子どもたちに運動する習慣をもってもらうため、全国の児童館・小学校などになわとび・長なわを寄贈してきました。これからも、子どもたちのすこやかな成長のために、この取り組みを継続していきます。

全国各地の寄贈の様子
なわとび・長なわの寄贈先は全国に広がっています。



児童館でのなわとび・長なわ寄贈イベントの様子



プロジェクトサイトでは、子どもの成長や子育てに関する情報を発信しています。ぜひご覧ください。

こどもの成長応援プロジェクト
<https://www.zenrosai.coop/anshin/kenko/>



たすけあいの輪をむすぶ



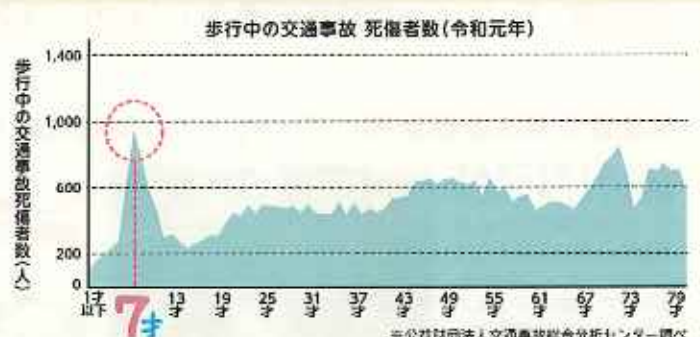
7才の交通安全プロジェクト



こくみん共済 coop では、「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」。
そんな思いから、みんなで子どもたちの安全を守っていく「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

プロジェクトで解決したい社会課題

小学校にあがると、行動範囲がぐんと広がる7才の子どもたち。しかし、大人よりも目線が低く、まだ十分に注意力が育まれていないために、他の年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。こうした7才児を中心に、子どもたちを交通事故から守るため、さまざまな活動に取り組んでいます。



子どもたちの安全をみんなで守っていくために、
さまざまな活動を行っています。

取り組み
その1

横断旗の寄贈

マイカー共済のお見積もり1件につき、横断旗1本を全国の児童館・小学校などに寄贈しています。あなたもぜひ、この取り組みにご協力ください。



取り組み
その2

金沢大学との共同研究



取り組み
その3

交通ルールが学べるデジタル絵本の公開



私たちの活動は、社会に広がっています。

読売新聞・中日新聞・北国新聞の記事で紹介されるなど、さまざまなメディアで、こくみん共済 coop の「7才の交通安全プロジェクト」が紹介されています。



2,865の団体が活動に賛同！

7才の交通安全プロジェクトに賛同いただいている協力団体は、2,865団体(2021年4月時点)。子どもの安全を見守る多くの方々の思いに支えられて、今後も取り組みをすすめています。

これまでの取り組み

2019年1月「7才の交通安全プロジェクト」スタート！

2019年11月 金沢大学との共同研究を開始！

子どもたちの目線や行動から事故の状況を再現。デジタル標識開発など、安全を守るための具体的な分析と施策に共同で取り組んでいます。



金沢大学と共同で教材の開発・実験を実施！

子どもたちの行動を科学的に研究し安全を守っていく取り組みとして、金沢大学と共同で交通安全教材「7才の交通安全マップ」を開発。教材を活用した実験も行いました。



これまでに320,800本の横断旗を全国の児童館・小学校などに寄贈しました。

こくみん共済 coop では、みんなで安全な環境をつくるため、全国の児童館・小学校などにオリジナルの横断旗を寄贈してきました。寄贈した横断旗は、登下校時の見守りや交通安全教室など幅広く活用いただいています。子どもたちの安全を守る活動の輪を広げるために、この取り組みを継続していきます。



全国各地の寄贈の様子

横断旗の寄贈先は全国に広がっています。



寄贈式を行った東京都港区立高輪台小学校から、交通事故から子どもたちを守るために、小学校低学年を中心に、児童が巻き込まれる痛ましい事故があとを絶たない昨今、今回寄贈された横断旗が子どもたちの未来を守る一助になってくれることを切に願います。また、「7才の交通安全マップ」は、子どもたちの交通安全への理解を深めてもらうために、非常に有効なツールであると期待しました。交通事故のない、安全な環境づくりに向け、授業などで積極的に活用していきたいと思っています。

プロジェクトサイトでは、交通安全に関するさまざまな情報を発信しています。ぜひご覧ください。

7才の交通安全プロジェクト
<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj/>



たすけあいの輪をむすぶ

PROJECT
3

子どもたちの体力向上を応援！

なわとび・ 長なわ寄贈

北海道・東北エリア >

関東エリア >

中部エリア >

関西エリア >

中国・四国エリア >

九州エリア >

関西エリアの取り組み

和歌山県

2020年7月

和歌山市教育委員会より
感謝状を授与いただきました。

和歌山推進本部より和歌山市教育委員会になわとび・長なわを寄贈し、感謝状をいただきました。寄贈したなわとび・長なわは、県内の小学校に配布いただく予定です。



職員の想い

「寄り添い・お役立ち」の活動として、多くの組合員・協力団体の賛同を得ることができたと感じています。この寄贈により、子どもたちの笑顔と健全な成長に少しでも貢献できればと思います。